

桜 爛漫

桜花爛漫（おうからんまん）

… 桜の花が満開になって見事に咲き乱れているさま

平成23年1学期 発行

下関短期大学付属高等学校 生徒会

『作成にあたって』

下関短期大学付属高等学校は少人数の小さな学校です。しかし、約100名（在籍生徒のほぼ半分※平成23年5月現在）の生徒が部活動に所属し、日々活動しています。また、くらしデザイン科全生徒で構成されるS（エス）クラブによるボランティア活動、音楽科では1年に1回行われる定期演奏会、さらには個人で音楽活動に取り組む生徒など、本校生徒は校外で様々な活動に取り組んでいます。

しかし、残念なことにそういった活動が周知されていないのが現状です。地域の方々にもそうですが、同じ校内にいる生徒同士でも疑わしくあります。例えば、皆さんはクラスメイトが土日祝日も関係なく練習に励み、そうして臨んだ試合の結果を知っていますか？本校のバレーボール部は強い。では、どれくらい強いかわかりますか？他の運動部がどのような試合をしているか、文化部・同好会がどのような作品を作っているか、知っていますか？

このような思いがあり、少しでも多くの人に本校生徒の活動の様子を知ってもらうことができればと思い、本誌のような機関誌を作成することを思いつきました。作成するにあたって、生徒の文章だけでなく、生徒が活動する時には常にそばにおり、時には厳しく、時には優しく見守っている教員の目線から書いた文章も掲載することとしました。原稿を依頼する生徒には学習や練習の合間に、教員には忙しい職務の合間に、大きな負担をかけることになりましたが、主旨を理解していただき、なんとか発行までたどり着きました。今後、学期末ごとに発行できればと考えています。

本校の所在地は下関市桜山町。「桜山祭」「桜山同窓会」など、本校の場所を示す言葉として「桜山」は使われています。この機関誌名を考えるにあたり、生徒を桜山に咲く桜に例え、その活動の様子を「桜花爛漫」という言葉で表現しました。意味は表紙で述べているように、「桜の花が満開になって見事に咲き乱れているさま」を表します。様々な生徒の活躍を報告できればと思います。

本誌が生徒の活動を伝える一助となり、また、活動する生徒の励みとなり、今後の活動がより活発なものとなれば幸いです。

本校 HP (<http://www.shimonoseki-jc.ac.jp/high/>) には本誌の PDF ファイルをアップロードしております。なお、HP 版では河野学園個人情報保護のガイドラインに基づき、生徒の個人名は伏せて掲載しております。

バレーボール部試合結果

中国大会予選（4月10日、16日、17日）

2回戦 付属 2-0 山口中央

3回戦 付属 2-0 宇部商

準々決勝 付属 2-1 萩商工

※1-4位リーグ進出決定

1-4位リーグ

1試合目 付属 1-2 岩国商

2試合目 付属 1-2 県鴻城

3試合目 付属 0-2 誠英

※4・5位入替戦へ

4・5位入替戦

付属 2-0 防府西

4位が確定し、広島県広島市で行われる中国大会の出場権を獲得しました。

中国大会（5月7日）

1回戦 付属 2-1 米子松陰高（鳥取県3位）

2回戦 付属 0-2 安田女子（広島県1位）

※詳細は次ページ以降の文章にて

ソフトボール部試合結果

中国大会予選（4月16日、17日）※5チームによる総当たりリーグ戦

1試合目 付属 2-5 中村女子

2試合目 付属 0-14 高川

3試合目 付属 6-3 徳山

4試合目 付属 9-2 萩

2勝2敗で3位となり、岡山県久米南町で行われる中国大会の出場権を獲得しました。

中国大会（5月14日）

1回戦 付属 3-2 倉敷商業（岡山県2位）

2回戦 付属 3-12 三刀屋（島根県1位）

※詳細は次ページ以降の文章にて

『中国大会を終えて』

バレーボール部顧問

4月に行われた、中国大会の県予選では、インフルエンザでメンバーが欠けたこともあり、どの試合も苦しい展開になりましたが、チーム全員の力で、中国大会の代表権を獲得することができました。5月4日から広島市の東区スポーツセンターで中国大会がおこなわれ、春の中国大会には、4回目の出場となりました。中国大会では、これまで1勝もできず、下短にとって、1勝の壁は高いものでした。

初戦は、鳥取県3位の米子松蔭。1セット目は、サーブキャッチで崩されることなく、速攻を交えた速いトスからの攻撃を展開し、サーブで攻めることができ、下短のペースで試合運びができました。しかし、2セット目は、自分たちの簡単なミスから相手に流れをもっていかれ、さらにサーブで崩され、思うような攻撃ができず、反対にコンビ攻撃で崩されてしまいました。バレーは、流れが勝敗を大きく左右するスポーツです。その流れを、引き寄せることができないまま、2セット目をとられてしまいました。3セット目は、気持ちを切り替え、もう一度チームが一つになり、今までで一番の盛り上がりを見せてくれました。リードされて、苦しんだ場面もありましたが、コートの外で支えてくれるチームの仲間や、広島まで来てくださった保護者や応援して下さるすべての方々の声援や支えもあり、勝利することができました。バレーは決して一人ではできない。仲間や、応援して下さる方々への感謝の気持ちでいっぱいでした。念願の初勝利は、3セットという苦しい試合になりましたが、1つ、目標をクリアすることができました。

2試合目は、広島県1位の安田女子高校。広島は、全体的にレベルが高く、苦しい戦いになることは分かっていたはいましたが、1セット目は、ことごとく相手の高いブロッカーにスパイクを止められ、何もできないまま、25-8で負けてしまいました。2セット目は、少しずつリズムがつくれてきて、流れがよくなってきた！と思ったら、時すでに遅く、25-16で負けてしまい、2-0で完敗でした。安田女子との戦いでは、力の差を感じ、悔しい思いをしました。その分、選手たちも、自分たちに足りないものがたくさん見えてきたと思います。

技術面はもちろんですが、精神面で劣る部分が大きく、まだまだ心を鍛えられていないということを感じました。プレッシャーに負けず、強気で攻める気持ちや、負けてたまるか！という意地。そして、応援して下さるすべての方々への感謝の気持ちが足りない。下短バレーは、泥んこバレー。床にはいつくばってでも、仲間のためにボールを繋ぐ。心を繋ぐ。周りの人が見ている、感動するバレーをする。もう一度原点に戻り、この中国大会で感じた思いを、練習にぶつけて、次の県総体では、今以上の力を発揮してくれることと思います。

選手たちなら絶対にやってくれればと信じ、残りの練習時間、1分1秒を無駄にしないよう、張り切って練習したいと思います。勝ちたいという思いは、監督もコーチもみんな一緒です。どこにも絶対負けたくない。その思いを練習にぶつけていこうと思います。

「One for all, All for one」全員バレーで、心を繋いで下短バレーができるよう、頑張ります。

応援、よろしくお願い致します。

『中国大会に参加して』

ソフトボール部主将

山口県の代表として昨年出場できなかった中国大会に出場することができました。皆さんから、たくさんのご声援をいただき本当にありがとうございました。

5月13日、下関を出発し岡山県に到着しました。到着後、練習会場で最終的な確認をし、気持ちも徐々に盛り上がってきました。

5月14日、試合会場である久米南町民運動公園で1回戦、岡山県2位の倉敷商業高校と対戦しました。

5回の裏に2点を先制されましたが、6回の表、ヒットと相手のエラーで1アウト1・2塁のチャンス、4番打者のセカンド強襲の間に1点を返し、2アウト2・3塁となったあと、またも相手のエラーの間に2点目を返し、同点に追いつくことができました。そして、2対2の同点のまま規定の7回を終えました。

8回からは延長戦となり、タイブレーカーという、ノーアウト・ランナー2塁から始まるソフトボールの特別なルールで行われます。

8回の表、3番打者が手堅く送りバント、1アウト3塁とし、4番打者のタイムリーヒットで私たちは1点をリードに成功しました。その裏の相手の攻撃を0点で抑え、倉敷商業高校に3対2で勝利することができました。

2回戦に進み、島根県1位の三刀屋高校と対戦しました。初回の立ち上がりは良く、良い雰囲気でしたが、ワイルドピッチや暴投で相手のペースにのみ込まれ、1対3で6回コールドゲームとなり、2回戦で敗退となりました。

この大会で他県との差、メンタル面の弱さを身にしみて感じるすることができました。この悔しさをバネに、またチーム一丸となって精一杯努力して行きたいと思います。

わざわざ岡山県まで足を運んでくださった方々、私たちを応援して下さったすべての方々、本当にありがとうございました。これからもご声援よろしく申し上げます。

県高校総体各部結果

(5月30日、6月4日、5日)

バレーボール部

2回戦 付属 2-0 豊北
3回戦 付属 2-0 田布施農工
準々決勝 付属 2-0 防府西
準決勝 付属 0-2 誠英
3位決定戦 付属 2-1 岩国商
見事、3位入賞を果たしました。

バスケットボール部

1回戦 付属 142-11 サビエル
2回戦 付属 95-42 萩
3回戦 付属 51-80 岩国

※詳細は次ページ以降の文章にて

ソフトボール部

5チームによる総当たりリーグ戦
1試合目 付属 8-3 萩
2試合目 付属 1-5 中村女子
3試合目 付属 6-7 徳山
4試合目 付属 5-6 高川

ソフトテニス部

個人戦

1回戦 付属ペア① 0-4 西京ペア
付属ペア② 0-4 厚狭ペア
付属ペア③ 0-4 岩国商ペア

『ベスト8の壁』

バスケットボール部顧問

みなさんは付属高校バスケットボール部を知っているだろうか？多くの人はよく知らないだろう。残念ながらこれが現実。『体育館でやっているの？』くらいのレベルかもしれない。だが実際、選手は毎日練習をしているし、もちろん大会にも出場している。今回は先日の山口県高校総体についての記事をとの依頼があった。これを読んで少しでも興味を持ってくれたら幸いである。

一回戦はサビエル高校との対戦。開始早々、付属高校は積極的なオフェンスで相手チームを圧倒。37-0で1Q終了。この時点で勝負は決してしまった。前半終了時70-3、3Qは96-9、最終的には142-11で試合は終了した。選手全員が出場し、付属高校の力を見せつけた形となった。特に期待のルーキーである#15は初の公式戦で34点を取るという衝撃デビューとなった。

二回戦は萩高校との対戦。いきなり先制されるも、#4、#5、#6を中心としたオフェンスからの#4のシュートでじわじわと点差を広げていく。対する萩も3pで応戦するが、なかなか点が伸びず30-13で1Q終了。2Qには相手センターを抑えるために#9を投入。これが功を奏し、相手オフェンスが機能しない間に着実に加点し51-20で前半終了。後半も運動量を落とさずどんどん走り、#7、#8のシュートなどで一気にリードを広げていき結局95-42で試合終了。ベスト16へと駒を進めた。

二日目はベスト8をかけて170cmクラスがずらりと揃った県下でも注目のチーム、岩国高校と激突。付属高校は#4の3p、#6のドライブなどで対抗、特に#7の積極的な1on1が相手のファールを誘うが、予想通り力強く安定したプレーで岩国も得点していき24-17、岩国リードで1Q終了。2Qには付属高校の連続ミスで岩国が確実に得点にし、リードを広げられてしまう。シュートまでは行くのだが、得点に結びつかない時間帯が続く付属高校。オフェンスを主体とするチームがこのQ、6点しかとれず、49-23で前半終了。3Qに入り、粘り強いリバウンド、ルーズボールでオフェンスの回数を増やしリズムを作っていく。#5のミドルシュート、#7のドライブなどで62-43と少し点差をつめるが、4Qには相手の高さ、力強さにやられてしまい、結局80-53で終了。またもベスト8の壁に阻まれてしまった。

「このチームがここ数年の付属高校バスケ部の集大成となる」と言ってこのチームはスタートした。確かに良い形で成長してくれているが、もっと出来るはずだ。持ち味のオフェンス力を活かすためにも、機能しつつあるチームディフェンスのレベルアップを図り、11月の大会に挑みたい。

いつも観戦に来てくださる保護者の皆様、観戦後、選手達にアドバイスをくださる岩本先生、その他多くの方々に支えられていることに感謝をし、チーム一丸となってベスト8の壁を突き破り、次のステージに進みたい。今後とも付属高校バスケットボール部をよろしく願います。

文化部・同好会活動報告

華道部

活動日・場所 毎週木曜日、MR

箏曲部

活動日・場所 毎週水曜日、礼法室
6月18日、県高等学校総合文化祭に参加

※詳細は次ページ以降の文章にて

茶道部

活動日・場所 毎週火曜日、礼法室

書道同好会

活動日・場所 毎週火曜日、音楽教室

美術同好会

活動日・場所 毎週 月・水・金 曜日、階段教室

パソコン同好会

活動日・場所 毎週火曜日、パソコン教室

ボランティア同好会

活動日・場所 毎週水曜日、保健室

『県高校総合文化祭に参加して』

箏 曲 部 部長

山口県高校総合文化祭は今年で33回目を迎えました。その中の日本音楽吟詠部門発表大会は白壁の町、柳井市で開催されました。

大会には県下各地から20校が参加し、自分たちの日頃の練習の成果を発表します。この大会で私たち箏曲部は「三段の調べ」という曲を演奏しました。この曲は5月に入ってから練習を始めました。発表に向けて毎日放課後、時間の許す限り練習を重ねましたが、緊張もあり納得のいく演奏ができませんでした。しかし、1年生は入部して間もないのに短い期間で初めての舞台に立てたことを誇りに思います。

そして11校による合同演奏にも出演しました。合同演奏とは各校が各校において同じ曲、「花かげ変奏曲」の練習に取り組み、当日に皆で演奏するもので、一回も全員で練習をしていないので、とても難しいものでした。しかし、皆でひとつのものをつくりあげる素晴らしさを感じることができました。また、多くの方々がこの大会を盛り上げようとしている姿にも感銘を受けました。

日本の伝統音楽はJ-POPなどの流行音楽によって、身近ではなくなってきました。だからこそ、このような発表大会を行うことで、日本の音楽・伝統・文化を継承し、ますます発展させていくことが大切だと思います。実際に日本音楽に触れると、楽器が奏でる音色は現代音楽にはない心安らぐものを感じることができます。

2年生の文化祭の時、先輩達の奏でる箏曲を初めて聴きました。私もあの様に箏を演奏したいと強く思い、箏曲部に入部しました。練習を重ねるたび、日本の音である箏の調べに奥深いものを感じています。

来年度は私たちの地元、下関でこの大会は開催されます。より多くの高校が参加することで、世代を超えた人たちに日本の文化の素晴らしさを伝えられたらと願っています。

今後も今まで以上に練習に励み、いろいろな行事に積極的に参加し、活動の幅を広げていこうと思います。

生徒会行事感想集

7月13日に生徒会行事として、トリムバレーが行われました。

まず、各学年で予選トーナメントが行われ、各予選1位のチームに教員チームが加わり、4チームによる決勝トーナメントが行われました。

結果は、優勝 きゅうり (2年1組)
準優勝 ポリス (1年1組)
第3位 マリオルイージ (3年1組) となりました。

～ 感 想 ～

- ・とても面白かったです。なんというかクラスの和が深まったと思うし、学年の和も深まったと思います。企画をしてくださった人たちに感謝したいです。 1年1組生徒
- ・今日のクラスマッチ、とても面白かったです。2, 3年生の先輩達のクラスの一体感を見て、すごいなあと思いました。 1年1組生徒
- ・負けたのはすごく悔しかったけど、楽しくできて良かったです。決勝トーナメントや自分たち以外の試合を見て、みんなで応援をしたり、とても楽しかったです。色々準備してくださった方に感謝したいです。 1年2組生徒
- ・あんなに盛り上がるとは思いませんでした。来年も今年のような盛り上がるクラスマッチをしたいです。 1年3組生徒
- ・今までの生徒会行事で一番楽しかったです。すごく盛り上がりました。実況も面白かったです。 2年1組生徒
- ・みんなで協力してひとつのことができることができましたので良かったです。また、今から桜山祭でもみんなで協力して、良いものを作りたいです。 2年1組生徒
- ・各クラス団結して、とても良い雰囲気だったと思う。最終的には2年生全体でまとめることができ、楽しく応援できた。 2年2組生徒
- ・すぐに負けてしまいましたが、見ている方でも楽しめました。先生たちの試合も面白かったです。 2年4組生徒
- ・クラスの絆が深まった気がします。声が枯れるくらい応援したり、みんなでハイタッチをしたり本当に楽しかったです。 3年1組生徒
- ・思った以上に盛り上がって、すごく楽しかったです。一人一人、楽しそうに笑っていてとてもよかったですと思います。嬉しい時も悔しい時も、クラスのみんなでひとつになって頑張りました。これでまた団結力が高まり、良い思い出となりました。もう3年なので一日一日が本当に大事なんだと気付きました。また次の行事もみんなで楽しくできたらと思います。 3年1組生徒
- ・先生たちの試合が面白かったです。クラスの団結力が大切だと思いました。 3年4組生徒

次回の生徒会行事は2学期末に実施予定です。